

# 平成30年度 富士見市水道事業会計予算（概要）

## 1 予算概要

### (1) 予算編成概要

27年度に開業した大型商業施設の影響により、安定した給水収益が見込まれていることから、29年度と同程度の収益を見込んでいる。しかし、近年給水収益の基本となる生活用水量（家庭内等で使用する水量）は、利用者の生活様式の多様化、節水機器の普及などによる環境の変化によって減少している。そのため、長期的には有収水量・給水収益ともに減少の傾向にあると考えられる。一方で、水道水の安定供給を維持するためには、水道施設の改良工事等に多額の費用が必要となっていく。

こうした厳しい経営状況の中ではあるが、将来にわたり安心・安全で安定的な水道水の供給を可能とするために必要な事業を中心とした予算編成に努めた。

### (2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.30%減の18億4,526万7千円、支出は、前年度比2.27%増の16億8,288万円で、収支差引では、1億6,238万7千円の黒字となっている。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比25.16%増の801万円、支出は、前年度比33.70%減の6億7,303万4千円となり、収支差引では、6億6,502万4千円の赤字が見込まれている。

### (3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

## 2 予算（収入）の主な特徴

### (1) 3条予算（収益的収入）

#### ○ 営業収益

給水収益（水道料金）は、過去の平均供給単価等で試算した数値を算出し、前年度比0.48%増の15億5,542万8千円とした。

受託工事収益は、下水道工事に伴う仮給水工事等の減少が見込まれるため、前年度比14.74%減の2,166万3千円とした。

補償金は、前年と同額の102万円とした。

加入金は、前年度比1.40%減の1億4,785万2千円とした。

## (2) 4条予算（資本的収入）

他会計負担金は、一般会計からの消火栓設置工事費負担金531万円とした。  
配水工事負担金は、開発に伴う配水管工事の負担金270万円とした。

## 3 予算（支出）の主な特徴

### (1) 3条予算（収益的支出）

#### ○ 営業費用

- ① 原水及び浄水費は、浄水場、配水場に係る経費で、設備の点検委託、動力費、受水費等で前年度比1.52%減の8億6,319万7千円とした。

#### 【主な支出】

・ 県水受水費	6億2,448万9千円
・ 各浄、配水場、第2号井～第5号井の電力費	6,002万円
・ 浄水場運転、設備維持管理業務委託	9,625万円
・ 自家用工作物保安管理業務委託	138万7千円
・ 水質検査、放射能水質検査委託	336万1千円

- ② 配水及び給水費は、配水管及び給水管の維持管理に要する費用で、前年度比11.47%増の1億6,656万5千円とした。

#### 【主な支出】

・ 検定満期メータ取替委託	2,424万8千円
・ 給水装置竣工図更新委託	1,272万2千円
・ 修繕待機業務委託	871万4千円
・ 漏水調査業務委託	715万円
・ 検定満期に係る量水器修繕	2,951万9千円

- ③ 受託工事費は、給配水管移設等の受託工事に要する費用で、前年度比14.41%減の2,257万2千円とした。

#### 【主な支出】

・ 下水道、ガス、NTT、東京電力等の工事に伴う給水管布設替工事	2,192万4千円
----------------------------------	-----------

- ④ 業務費は、前年度比7.87%増の1億1,913万6千円とした。

#### 【主な支出】

・ 包括委託費等	8,255万2千円
・ 通信運搬費	1,227万9千円

- ⑤ 総係費は、前年度比3.6%増の5,082万7千円とした。

#### 【主な支出】

・ 公営企業会計システム保守委託等	619万3千円
-------------------	---------

- ⑥ 減価償却費は、建物、構築物（配水管）、機械及び装置の減価償却として、3億9,216万4千円とした。

- ⑦ 資産減耗費は、構築物などの固定資産除却費で、351万円とした。

○ 営業外費用

- ① 支払利息は、4, 549万2千円とした。
- ② 消費税及び地方消費税の納税予定額を、1, 721万7千円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

- ① 老朽管更新事業費は、前年度比32. 31%増の2億797万4千円とした。

【主な支出】

・ 送水管布設替工事、舗装本復旧工事等 1億8, 614万9千円

- ② 浄水場改良費は、28年度、29年度の2年間の継続費として実施していた東大久保浄水場電気設備更新工事が終了予定。今後は、34年度から浄水場内のポンプ更新事業を計画している。

- ③ 配水管改良費は、前年度比51. 77%減の1億8, 832万円とした。

【主な支出】

・ 配水管布設実施設計業務委託等 1, 752万9千円

・ 配・給水管布設工事等 1億6, 579万1千円

- ④ 量水器費は、新規の水道メータ購入費で347万1千円とした。

○ 企業債償還金

企業債償還金は、2億4, 436万4千円とした。